

令和5年4月7日

## P T A 総会挨拶

校長 村井 浩昭

皆さんこんにちは。昨年度に引き続き校長を務めさせていただきます村井浩昭といたします。吉田三傑の一人が村井保固氏であるおかげで、声を掛けていただくこともあり、よい思いをさせていただいております。全く関係はないのですが、名字つながりの縁を感じており、偉大な方に恥じないように学校経営に努めてまいります。昨年度末には国安川ほつりをボランティア活動で、地域の方を巻き込んで整備したおかげで、例年になく桜が美しく咲いていると感じました。引き続きこの恵まれた環境の中でともに高めあうことができますこと、この上ない喜びです。どうぞよろしくお願いいたします。

少子化の影響で生徒数は減少しておりますが、何とか、普通科2クラス、工業科2クラスを維持できております。部活動も選択肢がたくさんあり、野球部、サッカー部、バレーボール部などの運動部、吹奏楽部や声楽部などの文化部、また、工業系で各種コンテストに挑戦している生産部など幅広くございます。

昨年度は木材加工の部門で全国大会に二人出場し、それぞれに入賞しております。年度末には昨年度の卒業生が建築競技設計で、最優秀となる愛媛県知事賞を受賞しました。

この春の野球部の活躍を知っておられますか。昨年の夏の大会も県でベスト8まで勝ち上がりましたが、春の大会でもベスト8まで勝ち上がり、ベスト4をかけた試合では、強豪チームにも引けを取らない試合展開で、吉田高校の名を県内にとどろかせました。

また、就職も進学も多岐にわたる選択肢があるのも本校の特徴です。この春の卒業生は進学希望が増えていました。普通科では、進学対就職が4：1、工業科では、2：3となっております。普通科でも工業科でもいろいろな資格取得を奨励しており、普通科では、実務検定や情報処理検定、工業科では、電気工事士や危険物取扱者などたくさんの資格取得にチャレンジできます。進学は、専門学校、4年制大学など進路先に応じて補習等も行っておりますし、就職に関しては、県内外の大企業から多くの求人をいただいております。

昨年度、今年度と、重点努力目標に「情理を尽くし、自ら考え、行動する生徒を育成する一精神（こころ）を修め、知と技を練る吉田高校一」を掲げています。「情理を尽くす」というのは、相手の気持ちを大切にしながら道理にかなった行動をとるということです。情的な面と理的な面を大切にしたバランスの取れた人間形成を行っております。コロナの状況も和らいできています。今まで停滞していた行事や学校活動をコロナ以前に戻したいとも思っております。引き続き感染対策には留意しながらも徐々に日常を取り戻していきたいと考えております。

最後になりますが、子供の教育に大切なのは、学校・家庭・地域の連携を密にすることと家庭から学校が信頼を得ることです。我々教職員一同、一丸となって、生徒一人一人の成長を支えてまいります。本校の教育活動への御理解、御協力をよろしくお願いいたします。